

研究課題

「網羅的遺伝子解析を用いた骨髄増殖性腫瘍の病態解明と診断治療法の開発」に関する情報公開

1. 研究の対象

当院血液内科にて、骨髄増殖性腫瘍に分類される、真性赤血球増加症 (PV: polycythemia vera)、本態性血小板血症 (ET: Essential thrombocythemia)、原発性骨髄線維症 (PMF: primary myelofibrosis) のいずれかの疾患と診断された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

骨髄増殖性腫瘍である、PV、ET、PMF の三疾患は、血栓症の高リスクとなり、QOL 低下の原因となるのに加えて、およそ 10%は予後不良の骨髄線維症や急性白血病へ移行します。疾患の発症や進展には、特定の遺伝子変異が関与しているとされ、骨髄増殖性腫瘍においても様々な遺伝子異常が報告されていますが、未だ未解明な部分も多く残されています。本研究では、患者さんから得られた血液などの検体から抽出した DNA、RNA、代謝物全般（タンパク質や脂質等を含む）を用いて、最先端の網羅的な転写開始点予測解析、転写制御領域解析、遺伝子発現解析、全遺伝子配列解析などを行い、骨髄増殖性腫瘍の診断をより確実にするマーカーの同定、治療に対する応答性の予測に有効なマーカーの同定などを目的とします。

なお、本研究の主たる解析は、順天堂大学医学部血液学講座を研究代表機関として行われるもので、当施設では検体の提供のみとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の外来診療時に、本研究用に、50ml を限度として、若干多めに血液を採取させていただきます。その他、通常診療として行われる問診、血液検査、病理検査等で得られる情報を研究に用います。

4. 外部への試料・情報の提供

採血された検体は、順天堂大学医学部血液学講座に送付され、上記の解析に用いられます。研究結果は、学会や学術誌に公表されることがあります。その際、個人情報には匿名化された上で厳重に管理され、個人が特定される情報は公開致しません。対応表は、当施設の担当者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者（研究全体）：順天堂大学医学部血液学講座 教授 小松則夫

研究代表者（当施設）：血液内科学 教授 高山信之

研究責任者（当施設）：血液内科学 教授 高山信之

研究事務局（当施設）：血液内科学 教授 高山信之
分担研究者（当施設）：血液内科学 准教授 佐藤範英

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

杏林大学医学部血液内科学 高山信之

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511 内線 5827

FAX 0422-44-0633

E-mail: ntakayam@ks.kyorin-u.ac.jp